

柱 1 : 次世代産業の振興・イノベーションの創出

1. 今年度の主な取組



(1) 次世代自動車産業の振興、新たなモビリティサービスの普及促進

○自動運転実証実験の推進 **先導プロジェクト**

自動運転の実用化に向け、交通事業者等が再現可能なビジネスモデルの構築を目指した実証実験を県内3地域で実施

- ・都心における自動運転を利用した移動（名古屋市）
シンガポールにおいて社会実装されている車両を用いて、都心の幹線道路において、長期間かつ、一般利用者が対象とした全国初の実証実験
実施時期：2021年8月18日から10月29日
- ・公道と空港制限エリアの同時運行・管理（常滑市）
小型バス車両2台を同時運行し、1か所から遠隔監視。全国で初めて空港制限エリアで一般旅客を乗せて自動走行を実施
実施時期：2021年10月29日から11月3日
- ・リニモ駅から園内目的地へのシームレスな移動（長久手市）
運行管制システムにより、利用需要に応じて、複数の走行ルート、運行ダイヤ、配車台数を自動設定し運行
実施時期：2022年2月10日から2月13日



名古屋市（自動運転用電気自動車）



常滑市（小型バス）

○中堅・中小自動車部品メーカーの新事業展開の促進

CASE・MaaS やカーボンニュートラルへの対応等をテーマとしたセミナー・ワークショップの開催及び新事業展開のための事業計画の策定支援

- ・新事業展開セミナー・ワークショップ：10回、延べ30社参加

○水素ステーションの整備促進

燃料電池自動車（FCV）の普及に不可欠な水素ステーションの整備・運営や燃料電池産業車両の導入に対する助成

- ・水素ステーション整備数：37か所（整備中含む）
- ・水素ステーション補助実績：整備費補助6件、需要創出活動費補助33件
- ・燃料電池産業車両補助実績：1件・19台

(2) 航空宇宙産業の振興

○あいち・なごやエアロスペースコンソーシアムによる総合的な支援

新型コロナウイルス感染症の影響により製造需要が低迷している県内航空機サプライヤー企業に対し、経営基盤強化のため他産業からの受注獲得を支援するとともに、需要回復後を見据えた販路拡大、人材育成等の支援を実施

- ・他産業とも商談できる商談会において、出展料の全額負担、専門家によるサポートなどの各種支援を実施
 - ①「エアロマート名古屋2021」（2021年10月12日から14日）
出展支援企業：57社
 - ②「第33回日本ものづくりワールド」（2022年3月16日から18日）
出展支援企業：16社
- ・航空宇宙産業に特化したマネジメント等を担う高度人材の育成講座
開催実績：18回、延べ369人参加
- ・社会人等を対象とした航空機産業の最新動向や技術等に関する講座
開催実績：5回（オンデマンド配信）、延べ1,491人参加



エアロマート名古屋2021におけるあいち・なごやパビリオン

<概要>

- 強みであるモノづくりとデジタル技術を組み合わせた革新的技術の社会実装の推進
- オープンイノベーションを基本コンセプトとした愛知県独自のスタートアップ・エコシステムの形成・充実

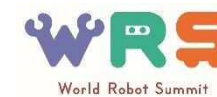
- ・学生を対象とした航空宇宙産業への進路選択や就職意欲を喚起する講座
開催実績：9回、延べ612人参加
- ・高校生を対象とした県内航空宇宙関連企業へのインターンシップ
参加者数：26人（予定） 協力企業数：12社（予定）

(3) ロボット産業の振興

○ロボット国際大会の開催 **先導プロジェクト**

2つのロボット国際大会を開催し、ロボット技術や新たな可能性を発信

- ・ワールドロボットサミット2020
時期：2021年9月9日から12日（愛知大会） 会場：Aichi Sky Expo
内容：競技会（ものづくり、サービス、インフラ・災害対応、ジュニア）、展示会（バーチャル展示）
参加チーム数：58チーム（14か国・地域）
- ・ロボカップアジアパシフィック2021 あいち
時期：2021年11月25日から29日 会場：Aichi Sky Expo 等
内容：競技 自律型ロボットによる競技[サッカー、レスキュー等]
サイドイベント ロボット展示、子供向けワークショップ、ステージイベント等
シンポジウム ロボット・AIに関する講演、論文発表
参加者数：オンサイト競技 107チーム・463人（8か国・地域）
バーチャル競技 188チーム・539人（23か国・地域）
来場者：競技・サイドイベント 12,588人、シンポジウム 141人

ワールドロボットサミット
2020 愛知大会 競技風景ロボカップアジアパシフィック
2021 あいち 競技風景○サービスロボットの社会実装に向けた取組 **先導プロジェクト**

様々な施設における実証実験を通じて本県のロボット技術及び先進的な社会の姿を発信

社会課題の解決に資するロボット37機*が参加。6施設で実証実験を実施

施設名	施設種類	ロボット
豊田スタジアム	スポーツ施設	10機 案内や配膳、警備ロボット
藤田医科大学病院	病院	3機 薬剤搬送ロボットやモビリティ
トマロッソ 東郷ファーム	農場	4機 噴霧やパワーアシスト、清掃ロボット
鈴木菜園	農場	1機 トマト収穫ロボット
大名古屋ビルディング	商業施設、オフィス	13機 案内や配膳、清掃・消毒ロボット
Aichi Sky Expo	展示場	4機 清掃・消毒や配膳ロボット

*ロボット数の合計は、複数施設で実証実験するロボットや、イベントでのデモのみを行うロボットがあるため、表の合計と一致しない



豊田スタジアムにおける実証実験



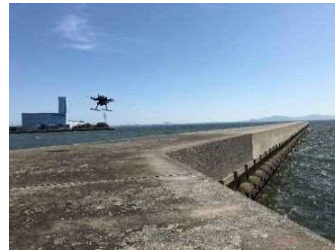
藤田医科大学病院における実証実験

先導プロジェクト …ビジョンに位置付けた「目指すべき姿に向けた先導プロジェクト」

○無人飛行ロボットの活用 **先導プロジェクト**

社会インフラ点検等をテーマとした実証実験を通じ、ビジネスモデルを創出

- ・港湾施設の定期点検モデルの検証（豊川市）
防波堤等の港湾施設の定期点検を想定した実証実験
実施時期：2021年10月20、21日 場所：御津町御幸浜地内
- ・鉄道災害の初動点検モデルの検証（名古屋市）
豪雨等の災害後の鉄道運行復旧前の線路設備点検を想定した実証実験
実施時期：2021年11月10、17日
場所：名鉄築港線大江駅から東名古屋港駅



港湾施設定期点検の実証実験

(4) 革新的技術の社会実装の推進に向けた環境整備

○スーパーシティ構想の実現に向けた提案

中部国際空港島・周辺地域を中心に、最先端技術・サービスの社会実装フィールドとすることでイノベーション創出の拠点化を進める、愛知・常滑ならではのスーパーシティ構想を国に提案

あいち・とこなめスーパーシティ構想概要（4月提案）

<目指す未来都市像>

「グリーン&イノベーション アイランド」

<展開イメージ>

・フェーズⅠ（～2025年）

中部国際空港島と対岸部のりんくう町に最先端技術・サービスの導入を図り、ビジネスモデルを構築（早期実装拠点）

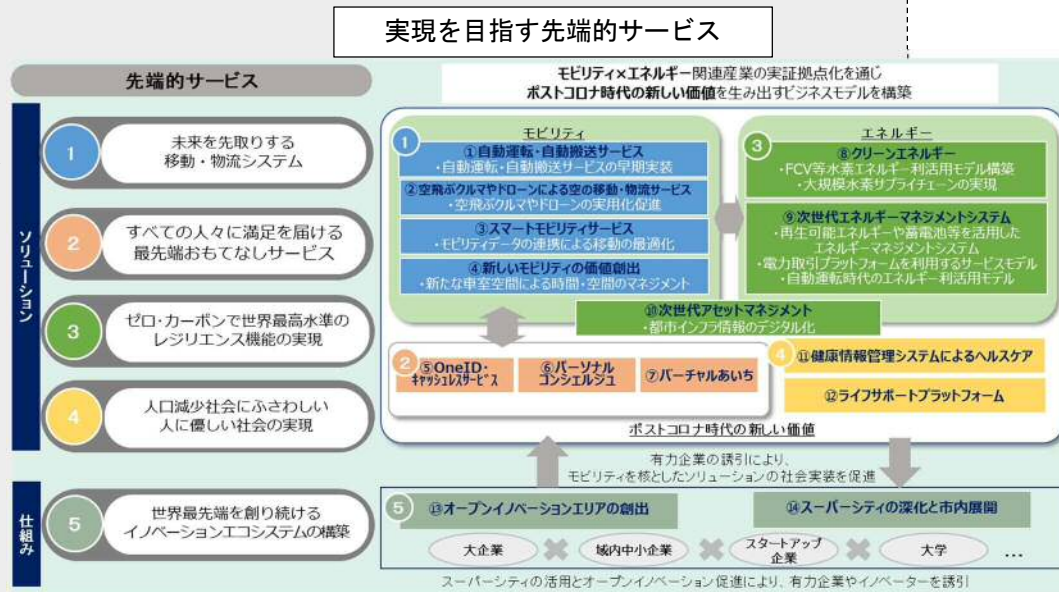
県内他地域の構想との連携により相乗効果を発揮

・フェーズⅡ（2026年以降）

フェーズⅠで実現したサービスについて、常滑駅周辺等市街地への展開

・フェーズⅢ（2030年頃）

市内、県内の課題解決のための展開



(5) スタートアップ・エコシステムの形成促進 **先導プロジェクト**

○STATION Ai の整備推進

スタートアップの全成長ステージに対応した支援の提供とオープンイノベーションを促進する日本最大のスタートアップ支援拠点の整備を推進（2024年10月オープン予定）

・PFIによる施設設備

愛知県スタートアップ支援拠点整備等事業の落札者をソフトバンク(株)に決定(7月)し、基本協定を締結(9月)
同社が設立したSTATION Ai(株)と事業契約を締結(10月)



STATION Ai

○PRE-STATION Ai における支援

STATION Ai の整備に先駆けて、WeWork グローバルゲート名古屋内に設置したPRE-STATION Ai において、スタートアップの総合支援を展開

・2020年1月開設。統括マネージャーを配置し、起業や既存企業とのマッチングに向けた支援、ビジネスプランコンテスト等を実施
入居者：48社61名（2022年1月末時点）



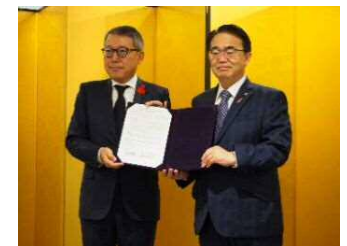
PRE-STATION Ai

○STATION Ai パートナー拠点の設立促進

中核支援拠点「STATION Ai」と相互に連携・協力し、県内各地域の特性や強みを生かしたテーマ・分野別の「STATION Ai パートナー拠点」の設立を促進

・東三河スタートアップ推進協議会との連携

地域の産学官が一体となって設立した東三河スタートアップ推進協議会と相互の連携協力に関する覚書を締結（10月）



東三河スタートアップ推進協議会との覚書締結

○海外スタートアップ支援機関・大学との連携促進

セミナーやアクセラレータープログラムの実施等により、スタートアップの海外展開を進めるとともに、海外スタートアップと県内企業のマッチングの促進により、海外スタートアップ・エコシステムとのネットワークを形成

・海外スタートアップ支援機関・大学との主な連携内容

テキサス大学(米)	シンガポール国立大学	フランス支援機関	清華大学(中)
<ul style="list-style-type: none"> ・海外展開プログラムの実施 ・支援機関向けワークショップの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営課題や社会的課題解決に向けて県内の企業等と国内外のスタートアップ等による協業プログラムの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・STATION F によるアドバイザープログラムの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国への進出支援及び中国スタートアップと県内企業とのマッチング支援

2. 今後の取組方向、2022年度に追加・拡充する取組

- 自動運転やロボットの実証実験など、モノづくりの強みを生かした革新的技術の社会実装の取組、STATION Ai プロジェクトといった取組を着実に推進するとともに、2つのロボット国際大会のレガシーとなる取組や自動車産業の構造の変化に対応する取組を進める。

<追加・拡充する取組>

- ・中部国際空港と対岸を結ぶ空港連絡道路において、高い耐候性を目指し、磁気マーカを活用した高速走行の自動運転実証実験の実施
- ・CASE・MaaS やカーボンニュートラルへの対応など、新事業展開に対する専門家のハンズオン支援の実施
- ・モノづくり現場の自動化を担うロボットシステムインテグレータの人材創出を目的とした「高校生ロボットシステムインテグレーション競技会」の開催
- ・先端技術を活用したスマートシティのモデルとなる市町村の取組支援、他市町村への横展開の促進
- ・「STATION Ai」の一角に、本県ゆかりの創業者等産業偉人及び業績を展示する施設の整備に必要な展示内容等の調査や基本設計の実施

柱2：地域産業の活性化



1. 今年度の主な取組

(1) 商業、サービス産業、地場産業の振興

○あいちサービス大賞等を通じたサービス産業支援

先進的なサービスを提供している事業者をあいちサービス大賞として顕彰するとともに、サ・ポータルあいちを通じた情報発信等を実施

- ・あいちサービス大賞（2022年3月22日表彰）：有限会社稲垣石材店始め、6者表彰
- ・サービス産業ポータルサイトへのアクセス件数：17,688件（2022年2月末時点）

○あいち商店街活性化プラン2025の策定

ウィズコロナ・ポストコロナの視点から商店街の姿、あり方を展望した商店街を活性化する2025年度を目標年次とした新たな計画を策定

あいち商店街活性化プラン2025【重視すべき支援の視点】

- 横断的な視点：コロナによる新しい生活様式や新たな社会的課題への対応
- ①：商店として「稼ぐ力」を強化
 - ②：「地域コミュニティの担い手」としての機能強化
 - ③：担い手育成と外部人材及び多様な主体との連携促進
 - ④：市町村、地域住民、事業者、支援機関等で商店街を中心としたまちづくりの地域プラットフォームを構築
 - ⑤：生活やまちの課題解決、新たな就業・創業の場としての機能整備

○第38回伝統的工芸品月間国民会議全国大会（KOUGEI EXPO IN AICHI）の開催

大会の開催を通じた伝統的工芸品に対する国民の理解とその一層の普及促進

時期：2021年11月27日から29日 場所：Aichi Sky Expo
 内容：伝統的工芸品の展示販売、実演、体験教室、商談会など
 参加者数：約13万8千人（関連イベント含む）

先導プロジェクト



(2) 課題解決型産業の育成

○新エネルギー産業の育成・振興

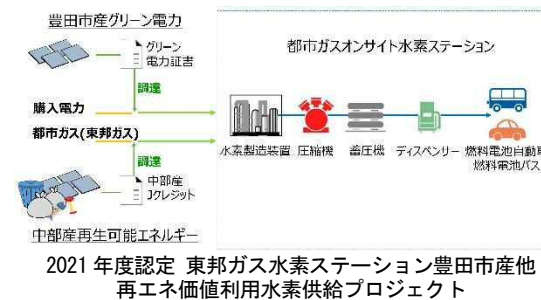
愛知県新エネルギー産業協議会におけるシンポジウム等の開催

- ・新エネルギー情報発信フォーラム2021
 時期：2021年11月11日 場所：ポートメッセナゴヤ
 テーマ：製造現場におけるカーボンニュートラル 参加者：120名

○水素社会の実現に向けた取組の推進

産学行政連携により設立した水素エネルギー社会形成研究会におけるセミナー等の開催

- ・国の取組や先進事例に関するセミナーの開催：3回
- ・あいち低炭素水素サプライチェーン会議における推進策の検討、事業化の支援：認定6件、認証5件



<概要>

○感染症や災害リスクを踏まえ、「地消地産」の視点が重要となる中、デジタル化や感染症の影響など、多様化する市場ニーズに適応した地域産業の活性化

○大規模水素社会実装実現に向けた取組の推進

中部圏における大規模水素社会実装の実現に向けた包括連携協定締結及び中部圏大規模水素サプライチェーン社会実装推進会議の設立（2022年2月21日）

- ・連携・協力事項：
 水素の輸入・貯蔵・供給・利用を促進するためのインフラ整備や計画の策定等の各種取組、水素利活用促進に資する取組など
- ・協定締結及び推進会議メンバー：
 愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市長、名古屋商工会議所、（一社）中部経済連合会、中部経済同友会、中部圏水素利用協議会



包括連携協定締結式

○健康長寿産業の振興

あいち健康長寿産業クラスター推進協議会における産学・医工連携による新たな事業・取組の創出促進

- ・あいち福祉用具開発ネットワークによる福祉用具・介護ロボット出張デモの開催（2022年1月末時点）
 対象用具・機器：22用具・機器 開催件数：1件
- ・メディカル・デバイス産業振興協議会における新規参入セミナーや医療現場視察会の開催
 医工連携セミナー：2回 188名参加
 医療現場視察会（手術支援ロボット hinotori[藤田医科大学]）：3回 30名参加

(3) 農林水産業の振興

○6次産業化・農商工連携の推進

愛知県6次産業化サポートセンターにおける6次産業化の支援や東三河地域における農商工連携商品の開発などの取組の促進

- ・6次産業化サポートセンターにおける支援（2021年12月末時点）
 個別相談：68件 人材育成研修会の開催：延べ141人参加
- ・東三河地域における農商工連携の取組推進
 地域の特産品や名産品を活用した商品・メニューの開発：18品

○スマート農林水産業等による生産力の強化

ICT等の先端技術を用いたスマート農林水産業などの生産技術の導入推進

- ・ICTやAI等を活用した新技術等の開発、民間企業等と連携した共同研究：新技術開発10件、共同研究34件
- ・スマート農業技術の実証と推進：4地区
- ・スマート林業の推進
 航空レーザ計測による森林情報の把握・解析：岡崎市始め25市町、3.9万ha（見込み）
- ・水産資源回復に関する研究成果
 衛星画像や卵・稚仔調査結果を活用したイワシ類の資源管理手法の開発等：5件

2. 今後の取組方向、2022年度に追加・拡充する取組

- あいち商店街活性化プラン2025に基づき、「商店街の未来を拓くプロジェクト」を推進するとともに、伝統的工芸品月間国民会議全国大会のレガシーとなる取組を進める。
- カーボンニュートラルの実現に向けた取組を加速するため、中部圏大規模水素サプライチェーン社会実装推進会議において、地域一体となった取組を推進する。
- 健康長寿・農業分野の課題を解決するため、スタートアップの活力を生かしたイノベーションを推進する。

<追加・拡充する取組>

- ・商店街の活性化に向け、新しい考え方をを持った若手店主を起用して商店街が地域のニーズに応える計画を策定し、県が指定を行う「商店街の未来を拓くプロジェクト」発の事業に対し、補助率を引き上げ重点的に支援
- ・伝統的工芸品産地企業と海外バイヤーとのオンライン商談会等の開催による新たな販路開拓の促進
- ・カーボンニュートラルの実現に向けた中小企業の取組を支援する県融資制度の創設
- ・スタートアップ等の活力を生かしたあいち健康長寿イノベーションプロジェクト、あいち農業イノベーションプロジェクトの推進

柱3：観光・交流を通じた地域の魅力・ブランド力の向上



1. 今年度の主な取組

(1) 愛知県ならではの魅力向上と効果的なPR・プロモーション

○愛知ならではの「ツウ」な魅力向上

愛知ならではの「ツウ」な魅力を感じレベルの体験コンテンツまで磨き上げ、ターゲットに合わせて販売するとともに、歴史・ものづくり・伝統文化などといった本県の資源をひとつのストーリーとしてPR

・あいち「ツウ」リズムの推進

プロフェッショナルガイドの育成、ガイド付き旅行商品の造成・販売
「あいち『ツウ』リズム」解説パンフレットの作成

・武将観光の推進

サムライ・ニンジャ フェスティバル 2021

日時：2021年11月21日 場所：県営都市公園大高緑地
内容：全国の武将隊・忍者隊によるステージイベント、武将観光PR
ブース、火縄銃実演、刀剣展示等

徳川家康と服部半蔵忍者隊

名古屋城等における忍者活動：延べ306日（2022年1月末時点）
観光PRイベント等活動：県外43日間、県内19日間

・お城観光の推進

お城 EXPO への出展、PRの実施

日時：2021年12月17日から19日 場所：パシフィコ横浜 ノース
内容：PRブースの設置、来場者参加型コンテンツの実施

・産業観光の推進

岐阜県と連携した観光スタンプラリーの開催



サムライ・ニンジャ
フェスティバル 2021



徳川家康と服部半蔵忍者隊

○観光デジタルマーケティングの推進

観光客のニーズを的確に捉えることを目的としたデジタルマーケティングリサーチに基づく効果的・効率的な観光PRの実施

・マーケティング調査：観光客の一連の行動の流れ（「旅マエ」「旅ナカ」「旅アト」）を追い、観光客のニーズ、属性データの分析等を実施

・ブランド広告動画、バナー広告等の配信：マーケティング調査に基づく広告配信

○「観光レップ」を活用した海外プロモーションの実施

海外の現地事情に精通した現地事業者を「観光レップ」として設置し、ポストコロナを見据えた市場調査、プロモーションを実施

・レップ設置国：タイ、ベトナム、インドネシア、アメリカ、フランス、オーストラリア

・業務内容：現地旅行会社・メディアへのセールス活動、現地における情報収集・現地市場調査、旅行博参加、セミナー開催など

<概要>

- 県内や近隣県、国内観光を中心とした需要喚起及び感染症と共存する持続可能な観光の推進
- 「ジブリパーク」を始めとする大型事業・プロジェクトを活かし、「あいち観光戦略 2021-2023」に基づいた観光関連産業の活性化

○愛知県観光文化大使の任命及びPR

蒲郡市で撮影が行われた映画「ゾッキ」の監督である俳優の竹中直人さん、山田孝之さん、齊藤工さん3人をあいち観光文化大使に任命し、PRを実施

- ・観光PRポスターを用いたPR：東京メトロ駅、県内観光施設などで掲出
- ・県主催の観光物産展におけるPR：2021年4月3日 イオンシネマ越谷レイクタウン 他

(2) ジブリパークやMICE、スポーツ大会を通じた誘客

○ジブリパークの整備推進及び来場者の県内周遊促進

「青春の丘」、「ジブリの大倉庫」、「どんどこ森」の3エリアについて、2022年11月の開園に向けて整備を進める。また、「もののけの里」、「魔女の谷」の2エリアについて、3エリアの開園から概ね1年後の開園を目指し整備を進める。加えてジブリパーク来場者による県内での宿泊や周遊観光の促進を図る。

- ・青春の丘、ジブリの大倉庫の演習工事に着手
- ・もののけの里、魔女の谷の整備工事に着手
- ・来場者データを活用するシステムの構築
来場者データに係る事業者等のニーズ調査：101者 他
- ・PR用のデザイン・動画の制作
「ジブリパークのある愛知」をイメージしたデザインや動画をスタジオジブリの監修により制作



ジブリパーク「ジブリの大倉庫」イメージ

○MICE誘致のためのPR・プロモーション

先導プロジェクト

「愛知・名古屋MICE推進協議会」を通じて地域一丸となってMICE誘致を推進するためのセミナーの開催や見本市への出展を実施

- ・実施内容：MICEセミナーの開催、国内MICE見本市への出展、海外セミナー・商談会への参加、大規模MICEへの開催支援など

(3) 受入体制の整備・充実と観光交流拠点としての機能強化

○多言語化の促進等による利便性の向上

24時間365日対応する愛知県多言語コールセンターの運営

- ・利用状況：電話・テレビ電話サービス42件、翻訳サービス105件（2021年12月末時点）
- ・対応言語：英語、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、フランス語

○多様な旅行・宿泊ニーズへの対応

愛知県高級ホテル立地促進事業費補助金の事業認定

- ・事業認定案件（2021年度）：2件 ①（仮称）錦三丁目25番街区計画（代表：三菱地所(株)）
②（仮称）エスパシオナゴヤキャッスル（(株)ナゴヤキャッスル）

2. 今後の取組方向、2022年度に追加・拡充する取組

- 2022年11月のジブリパークの3エリア開園による誘客を図るとともに、そのインパクトを県内周遊に繋げる取組を推進する。
- 大河ドラマ「どうする家康」を活用して、武将観光の更なる充実を図るとともに、ポストコロナにおける本県の観光再生の核となる事業として位置付け、県をあげて取組を進める。

<追加・拡充する取組>

- ・ジブリパークのチケット販売サイト内に旅行商品の販売や観光情報を提供する特設サイトを構築・運用
- ・「どうする家康」を活用し、ロゴマーク、ポスター・パンフレットの作成を始めとしたPR・プロモーションの実施、他県開催イベントへの出展等を通じた広域からの誘客・県内周遊の促進

柱4：グローバルな産業拠点機能の向上



<概要>
 ○感染症の影響下にあっても県内企業のグローバル展開を支えるための海外パートナーシップの強化
 ○サプライチェーンの見直しや東京一極集中の是正の動きを踏まえた立地環境の整備・研究開発機能の向上

1. 今年度の主な取組

(1) 国際ビジネスの拡大支援

○県内企業の海外展開・販路開拓支援

あいち国際ビジネス支援センターや海外に設置した海外産業情報センター及びサポートデスクにおける総合的な相談対応の実施

- ・あいち国際ビジネス支援センターの利用件数：833件（2022年1月末時点）
- ・海外産業情報センター・サポートデスクにおける相談件数：521件（2022年2月末時点）

○海外の国・地域とのパートナーシップの構築

2019年12月に山東省と締結した経済交流に関する覚書に基づいた経済交流の実施、新たな友好交流及び相互交流に向けた覚書の締結

- ・山東省・愛知県経済交流カンファレンス（オンライン）の開催
 日時：2021年11月2日 参加者：約60名（日本側30名、中国側30名）
 テーマ：両地域の自動車産業及び自動車のEV化や自動運転などに関する動向
- ・山東省「日中エネルギー協力・グリーン成長促進会議（オンライン）」への登壇
 日時：2022年3月11日 講演内容：水素社会の実現に向けた愛知県の取組

(2) 立地環境の整備・企業誘致の推進

○産業空洞化対策減税基金に基づく企業立地の促進

産業空洞化対策減税基金を活用した高度先端産業分野やサプライチェーンの中核をなす分野等の企業立地の支援及び産業立地促進税制による不動産取得税の免除・減額措置の実施

- ・産業空洞化対策減税基金に基づく立地補助金認定状況
 2021年度：39件（総投資額526億円、常用雇用者の維持・創出4,200名余）
- ・産業立地促進税制を利用した企業数：13件（2022年2月末時点）

○産業立地サポートステーションを中心とした相談対応・情報提供

産業立地サポートステーションによる工業用地や立地優遇施策等の立地関連情報の提供及び産業立地セミナー等の開催

- ・産業立地サポートステーションによる企業訪問・相談件数：1,579件（2022年2月末時点）
- ・産業立地セミナー及び産業立地・再投資促進セミナー開催実績
 【東京】日時：2021年11月16日
 参加者数：100社・団体、161名（会場参加のみ）
 （会場参加のみ[その他、オンラインによる同時配信及び後日配信の視聴あり]）
 内容：県内に本社移転したIT企業の事例紹介等
- 【大阪】日時：2021年7月26日 参加者数：59社・団体、100名
 内容：県内立地企業による取組紹介等
- 【県内】日時：2022年2月16日 参加者数：69社・団体、92名
 （ライブ中継の視聴者のみ[その他、録画配信の視聴あり]）
 内容：県内立地企業による取組紹介等



愛知県産業立地セミナー2021 IN 東京

(3) 研究開発機能の強化

○知の拠点あいち重点研究プロジェクトⅢ期の推進

産学行政連携の研究開発プロジェクト知の拠点あいち重点研究プロジェクトⅢ期において、3プロジェクト、26研究テーマで共同研究を実施

- ・プロジェクト：近未来自動車技術開発プロジェクト
 先進的AI・IoT・ビッグデータ活用技術開発プロジェクト
 革新的モノづくり技術開発プロジェクト
- ・実施期間：2019～2021年度
- ・参加機関：106企業（うち中小企業68社）、19大学、12研究機関



知事への研究成果報告

○あいち産業科学技術総合センター等における研究開発の推進

知の拠点あいち及び各技術センター・試験場における依頼試験、技術相談・指導等の実施やあいちシンクロトロン光センターの積極的な活用の促進

- ・あいち産業科学技術総合センター技術支援件数
 技術指導件数：13,451件 技術相談件数：27,077件（2022年2月末時点）
- ・あいちシンクロトロン光センターの利用件数：1,605件（2022年2月末時点）

○研究開発・実証実験の取組を推進する体制の充実

新あいち研究開発補助金による研究開発・実証実験及び知の拠点あいち実証研究エリアにおける企業の実証研究の支援

- ・研究開発補助金採択実績：78件（うちトライアル型22件）
- ・実証研究エリア活用実績：6者

(株)伸光テクノス	日東工業(株)	名古屋大学	愛知工業大学及び河村電器産業(株)	(株)エノア	(株)豊橋バイオマスソリューションズ
加水分解技術によるバイオメタン生産の高効率化と発電・熱利用システムの実用化に関する実証研究	独立電源システムを活用した社会課題の解決及び自然エネルギー等を用いたIoTエネルギーマネジメント構築に関する実証研究	水素炎を用いた加熱炉の開発及び実証研究	直流スマートファクトリー実現に向けた変換装置の開発及び実証研究	中小工場の再エネ化に向け、水素蓄電及びネットワーク対応AIエンジンを利用した実証研究	次世代型のメタンの発酵システムの実証実験

○知的財産の戦略活用促進

知的財産の創造・保護・活用支援機能の強化

- ・知財経営を普及する知的財産経営サロンの開催：5回、延べ140人（2022年1月末時点）
- ・知的所有権センターにおける相談対応：223件（2022年1月末時点）

2. 今後の取組方向、2022年度に追加・拡充する取組

○ DXやカーボンニュートラルの実現に向けた取組を加速させるため、立地優遇制度の見直しを進めるとともに、知の拠点あいちにおける産学行政連携による新たな重点研究プロジェクトをスタートする。

<追加・拡充する取組>

- ・県内に拠点的ないソフト系IT企業が、県内に初めて進出する際のオフィス賃料等に対する補助制度を創設
- ・知の拠点あいち重点研究プロジェクトⅣ期の実施

<プロジェクトの方向性> ・世界を牽引して未来を創りつづける愛知の基幹産業の更なる高度化
 ・第4次産業革命をもたらすデジタル・トランスフォーメーション(DX)の加速
 ・SDGs達成に向けた脱炭素社会・安全安心社会の実現と社会的課題の解決

柱5：誰もが安心して生き生きと活躍できる環境づくり

1. 今年度の主な取組



(1) 若者の活躍支援

○ヤング・ジョブ・あいち等における就労関連サービスの提供

ヤング・ジョブ・あいちにおける就職相談から職業案内までのワンストップ支援や若者の職場定着に向けた企業の取組の支援

- ・ヤング・ジョブ・あいち支援実績（2022年1月末時点）
利用件数：40,479件 就職件数：5,107件
- ・若者職場定着サポーター養成支援講座：2回、120人参加
- ・若手社員向けセミナー：2回、63人参加
- ・若者職場定着支援シンポジウム：1回、80人参加



ヤング・ジョブ・あいち

(2) 女性の活躍促進、男女共同参画社会づくり

○女性の活躍促進に取り組む企業の支援

あいち女性の活躍促進会議やあいち女性輝きカンパニーの認証など、企業の取組の促進

- ・女性の活躍促進宣言企業数：1,987社（2022年1月1日時点）

○あいち女性起業家・経営者支援プログラム「COMPASS（コンパス）」の実施

女性起業家・経営者の成長と事業拡大を支援するプログラムの実施

- ・ブラッシュアップセミナー：3回、延べ107人参加（ビデオ受講含む）
- ・アクセラレーション・プログラム：選考を通過した20名に対し、全5回のプログラム及び伴走支援の実施



あいち女性起業家・経営者支援プログラム「COMPASS」

○女性の再就職支援

あいち子育て女性再就職サポートセンターにおける総合的な再就職支援の実施

- ・あいち子育て女性再就職サポートセンターの利用件数：619件（2022年2月末時点）

(3) 高齢者、障害者の活躍支援

○高齢者の就労支援

キャリアコンサルティングや各種セミナーの開催、シルバー人材センターなどによる就労支援

- ・中高年齢離職者再就職支援セミナー：10回 135名参加

○あいち障害者雇用総合サポートデスクによる受け入れから職場定着までの支援

企業からの相談対応、職場実習受入企業の情報集約・発信、雇用事例の収集提供などによる幅広い支援の実施

- ・サポートデスク利用実績：5,604件（2022年2月末時点）

<概要>

- 誰もが自らの意欲に応じて、その能力を発揮し、生き生きと活躍できる環境づくりの推進
- 感染症を契機とした働き方改革の更なる推進及び雇用維持に向けた施策の推進

(4) 外国人の活躍支援、多文化共生社会づくり

○定住外国人の雇用促進

企業及び定住外国人向けの雇用や就職に関する相談窓口の設置、専門家を活用した求人事業者の開拓、定住外国人向けのキャリアコンサルティングや就職準備講習の実施、就職面接会の開催

- ・相談件数：企業61件、定住外国人101件（2022年1月末時点）
- ・定住外国人就職面接会の開催：6回 企業59社、求職者191名
- ・定住外国人向け就職準備講習：3コース、延べ48名参加

(5) 就職氷河期世代の活躍支援

○あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォームを活用した支援

求職者に対するキャリアコンサルティング、ビジネススキルやIT技術向上を図るための研修訓練、紹介予定派遣制度を活用した職場実習等の実施

- ・就職支援講座及び職場実習実績（2022年2月末時点）
職場実習参加者数：19人 正社員就職決定者数：37人

(6) 生き生きと働ける職場づくり 先導プロジェクト

○あいちテレワーク推進アクションプランに基づくテレワークの普及促進

テレワークの導入・定着を推進するため、あいちテレワークサポートセンター、あいちテレワーク・モデルオフィスを設置するとともに、テレワーク・スクールを開催

- ・テレワークサポートセンター利用実績（2021年4月28日開設）
相談件数：1,134件（電話890件、来所164件、メール等80件）
- ・テレワーク・モデルオフィス（2021年8月18日開設）
利用者数：1,159名（体験：1,039名 見学：120名）
- ・テレワーク・スクールの開催：6回、延べ127人



あいちテレワークサポートセンター

※実績は全て2022年2月末時点

○地域一体となったワーク・ライフ・バランスの推進

労働団体、経済団体、行政機関等が構成するあいちワーク・ライフ・バランス協議会により、地域一体となってワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組を推進

- ・「愛知県内一斉ノー残業デー」街頭啓発活動
日時・場所：2021年11月17日 金山総合駅
- ・愛知県ファミリー・フレンドリー企業の普及啓発の推進
新規登録企業数：87社（2022年2月末時点）



「愛知県内一斉ノー残業デー」街頭啓発活動

2. 今後の取組方向、2022年度に追加・拡充する取組

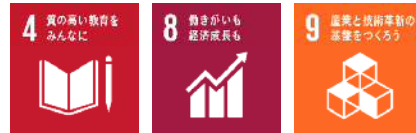
- 中長期的に生産年齢人口の減少が進行するとともに、ダイバーシティの重要性が高まる中、若者、女性、高齢者、障害者、外国人など誰もが活躍できる環境づくりを進める。
- コロナ禍によるテレワークの広がりなど、従来の働き方に対する意識の変化を契機とした働き方改革のより一層の推進を図る。

<追加・拡充する取組>

- ・テレワーク関連機器の貸出による職場での試行支援など、テレワークサポートセンターの機能拡充
- ・ICTを活用した若者の職場定着の取組事例を活用した若者の職場定着支援
- ・定住外国人の雇用を希望する企業への伴走型支援の実施

柱6：愛知の産業を担う人財力の強化

1. 今年度の主な取組



<概要>
 ○デジタル人材を始めとしたイノベーションを創出する人材や高度なモノづくり人材の育成
 ○感染症の影響により地方への関心が高まる中での国内外からの人材確保
 ○自らの知識や能力を高めることができる環境づくり

(1) イノベーション人材の育成

○デジタル人材の育成・確保 **先導プロジェクト**

全庁横断的な「デジタル人材育成ワーキンググループ」における施策の検討・推進

- ・経営層向けセミナー：2回 277人参加
- ・デジタル技術を活用して新規事業創出を担うリーダー向け研修：2回 35人参加
- ・業務のデジタル化を担う一般社員向け研修：6回 71人参加
- ・若手社員向け「あいちDXチャレンジ」(2021年11月5日表彰)
知事賞：株式会社ファースト・オートメーション
- ・「モノづくり×AI・IoT」をテーマとした大学対抗ハッカソンの開催：11大学 53名参加
- ・県内大学と企業との長期インターンシップやPBLの促進
長期インターンシップ：2大学2名が2社で実施
PBL：2021年11～12月にかけて本取組で初のPBLを開催
- ・小・中学生を対象としたロボット制作とプログラミングによる制御を競い合う競技大会の開催
開催結果：中学生17チーム(2021年11月13日)、小学生76名(11月20、21日)

「あいちDXチャレンジ」表彰式



○次代の科学技術を担う人材の育成

スーパーサイエンスハイスクール、あいちSTEMハイスクールの取組の推進、子ども達が科学技術や知的財産について学ぶ機会の提供

- ・スーパーサイエンスハイスクールの指定：8校(旭丘、明和、時習館、岡崎、一宮、半田、刈谷、豊田西)
- ・あいちSTEMハイスクールの指定：5校(春日井、岡崎北、一宮起工科、豊田工科、東海商業)
- ・あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室の運営・活用
- ・愛知の発明の日記念講演会
日時：2021年7月30日 参加者数：オンライン配信
テーマ：「はやぶさ2」および今後の宇宙開発と知的財産の重要性 など
- ・発明クラブ紹介展
日時：2021年7月29日から2022年2月28日
出品数：49点(あいち少年少女発明クラブ紹介展スペシャルWebサイトによるオンライン紹介)

(2) 高度なモノづくり人材の育成

○県立工科高等学校における取組

全国初の公設民営により設置した総合工科高等学校専攻科における取組、県立工科高校における学科改編など、産業界のニーズに対応できる人材育成

- ・愛知総合工科高校への理工科の設置
- ・工科高校への校名変更、工科高校の学科改編
：理工科、IT工学科、環境科学科、ロボット工学科、生活コース

○技能尊重の気運の醸成、技能継承の支援

技能五輪・アビリンピックの開催実績を活かした技能への興味・関心の向上を図る取組及び熟練技能者における中小企業等に対する技術指導

- ・小・中学校、特別支援学校への技能五輪メダリスト等の派遣：56校にて実施
- ・あいち技の伝承士派遣
派遣先・日数：31団体 延べ152人日 受講者数：221人



技能五輪メダリスト派遣

(3) 国内外からの人材の確保

○UIJターン希望者に対する就労支援

東京と名古屋に設置したあいちUIJターン支援センターにおけるUIJターン希望者の積極的な掘り起こし及び個別相談への対応

- ・あいちUIJターン支援センター実績(2022年1月末時点)
就職者数：63人 登録求職者数：1,756人(名古屋662人、東京1,094人)

○外国人材の受入

アジア諸国からの技術系を中心とした留学生や外国人起業家の受入を促進

- ・愛知のものづくりを支える留学生受入事業による留学生への支援：2021年新規受入5名(来日時期未定)
- ・留学生インターンシップ：参加留学生172名、参加企業62社
- ・留学生オンライン企業見学ツアー：2回(対面1回・オンライン1回)、計90名参加
- ・国家戦略特区等を活用した外国人創業者の在留資格の猶予：7件(2022年2月末時点)

(4) キャリア教育・リカレント教育の推進

○キャリア教育の推進

小・中学校でのキャリアスクールプロジェクトや高等学校でのインターンシップの実施など成長過程に応じたキャリア教育の推進

- ・キャリアスクールプロジェクト「つなぐ」の実施：小学校モデル校36校、中学校284校(2022年2月1日時点)
- ・県立高等学校におけるインターンシップの実施：777名参加(2021年12月末時点)

○高等技術専門校等における職業訓練 **先導プロジェクト**

高等技術専門校において、中小企業のニーズに応じた職業訓練を実施するとともに、民間教育訓練機関等に委託し、デジタル活用分野や介護福祉分野など多様な職業訓練を実施

- ・デジタル活用分野など離職者等の多様なニーズに応じた訓練の実施：デジタル活用分野205コース
- ・中小企業の人材ニーズを踏まえた在職者向け職業訓練の実施：デジタル活用分野48コース

2. 今後の取組方向、2022年度に追加・拡充する取組

- デジタル人材育成ワーキンググループにおける検討を踏まえ、喫緊の課題であるデジタル人材の育成について、経営者から実務者や、若者・学生に至るまできめ細やかな施策の展開を図る。特に人材やノウハウ、資金などで課題を抱える中小企業向けの施策を充実する。

<追加・拡充する取組>

- ・中小企業が抱えるデジタル化に関する問題を解決するためのアドバイザーの派遣
- ・デジタル人材育成に係る社内研修カリキュラムの作成から研修、フォローアップまでの支援を行うモデル事業の実施
- ・国家戦略特区を活用した外国人創業者の事業所特例の適用、外国人高度人材ポイント制に係る特別加算制度の導入
- ・岡崎高等技術専門校における3Dモデリング科の設置(3Dプリンタ等を活用する職業訓練の実施)

基盤施策：中小・小規模企業の持続的発展

1. 今年度の主な取組



(1) 経営基盤の強化や経営革新、事業承継の支援

○（公財）あいち産業振興機構における総合的な支援

経営・技術等の相談対応、専門家派遣の実施等による中小企業の経営課題に対するワンストップ対応

・ワンストップ支援窓口の利用件数：14,498件（2022年1月末時点）



あいち産業振興機構における補助金活用セミナー

○きめ細やかな金融支援

利用者ニーズを踏まえた融資制度の運用及び小規模事業者等設備貸与事業による必要設備の割賦販売・リース

・融資実績：16,241件、約2,188億円（2022年2月末時点）

・割賦・リース実績：31件、約5億円（2022年2月末時点）

○助成制度による中小企業の新分野進出・販路開拓への支援

あいち中小企業応援ファンド新事業展開助成金による新製品開発・販路拡大支援及び小規模事業者経営革新計画支援事業費補助金による取組支援

・中小企業応援ファンド助成実績：地場産業枠・農商工連携枠23件、一般枠21件

・経営革新計画支援事業費補助金助成実績：12件

○事業承継の支援

2021年4月に名古屋商工会議所が中心となって設置した愛知県事業承継・引継ぎ支援センターにおいて親族内承継や第三者承継を含めた事業承継に関する総合的な支援を実施

・相談対応実績：親族内189件、譲渡200件（2022年2月末時点）

(2) デジタル技術の導入の支援

先導プロジェクト

○あいち産業DX推進コンソーシアムの設立

県内企業がデジタルトランスフォーメーションへの理解を深め、実践することを促進するため、産学金行政が連携して施策を展開

・あいち産業DX推進コンソーシアム概要

設立日：2021年11月5日

構成団体：企業・団体、大学、金融機関、行政など193団体
（2022年1月25日時点）

事務局：あいち産業振興機構



あいち産業DXコンソーシアムキックオフ

2. 今後の取組方向、2022年度に追加・拡充する取組

○（公財）あいち産業振興機構におけるワンストップ対応などにより、経営・資金・技術開発・事業承継など、中小・小規模企業の企業力強化を支援する。

○とりわけ、デジタル化・DXによる経営改善を支援するため、あいち産業DX推進コンソーシアムによる地域一体となった施策展開を図る。

<概要>

○本県の産業経済と雇用、地域社会を支える中小・小規模企業については、感染症により深刻な影響を受けるとともに、デジタル化への対応など様々な課題を抱えていることから、社会の変化に柔軟に対応した経営革新を支援

○デジタル技術の導入支援

企業が抱える様々なデジタル課題に対する相談対応とともに、必要に応じた現場でのアドバイスやコンサルティングを実施

・愛知県デジタル技術活用相談窓口における相談対応実績：118件（2022年2月末時点）

・デジタル技術導入モデルの実証

提供ツール：iXacs（iSmartTechnologies株式会社）始め3件 参加企業：6社

支援内容：IoTツール試行導入による見える化の仕組み構築とその仕組みを活用した業務改善の支援（コンサルティング）

(3) 人材の育成・確保の支援

○愛知県産業人材育成支援センターを核とした産学行政連携による人材育成

企業OB等のコーディネーターを配置し、職業能力開発関連の情報提供・相談対応等を実施

・愛知県産業人材育成支援センター実績（2022年2月末時点）

活動件数：317件（訪問278件、電話・メール等39件）

相談実績：113件



愛知県産業人材育成支援センターコーディネーター派遣

(4) 感染症や災害リスクに対応する取組の支援

○中小企業のBCP（業務継続計画）の策定支援

業種や企業規模、防災やBCPに対する取り組み具合に応じたあいちBCPモデルの提供及び講習会及び出前講座の開催

・講習会開催実績：1回、38社参加

(5) 中小・小規模企業の魅力発信

○愛知ブランド企業による情報発信

愛知ブランド企業の認定・情報発信及び認定企業間のネットワークの充実強化

・認定企業数：400社 ・メッセナゴヤ出展を通じた情報発信

・総会、分科会等及び愛知ブランド認定企業セミナー：2回（2022年1月末時点）

・愛知ブランド企業出前講座：8回 延べ1,256人参加（2022年1月末時点）

<追加・拡充する取組>

・小規模事業者の販路開拓を図るため、商工会・商工会議所が整備するキッチンカーへの支援

・外国人経営者を対象にワンストップで情報提供や相談対応を行う経営支援センターを開設

・先進的なデジタル技術を活用したユースケース（事業の想定シナリオ）を活用したビジネスモデルの実証支援（公募した企業によるワーキンググループでの実証実験の実施）

・デジタル技術の導入事例を横展開し、企業のデジタル化による業務プロセスの改善・構築に係る実証を支援する補助制度を創設